

教科に関する調査 問題ごとの正答率等一覧表 [数学]
三郷市教育委員会

・レベルはそのレベルを、上からABC順に三分割しています。
・学力の伸びは、レベルを数値に変えたうえで昨年度との差を計算しています。
(例) R4レベル11-A(33)－R3レベル9-B(26)=伸び(7)

集計結果

	学校数	児童生徒数	平均 正答率	H30小4 レベル (平均)	H31小5 レベル (平均)	R2小6 レベル (平均)	R3中1 レベル (平均)	R4中2 レベル (平均)	令和3年度からの 同集団における 学力の伸び(平均)
埼玉県	356	44,081	52.7	5-B	6-B	6-A	7-B	8-C	2
貴教育委員会	8	1,039	51.0	5-A	6-A	7-C	7-B	8-C	2

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率	
			埼玉県	貴教育委員会
教科の領域等	数と式	13	54.0	53.2
	図形	8	47.9	45.0
	関数	6	53.8	52.0
	データの活用	5	55.6	53.6
評価の観点	知識・技能	28	54.2	52.6
	思考・判断・表現	4	42.1	39.9
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	15	52.0	50.1
	短答式	16	54.5	52.7
	記述式	1	35.1	36.2

困難度レベルは、およそ70%の確率で正答する学力レベル(三分割)に対応しています。

設問別集計結果

設問番号	問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等				評価の観点			問題形式			埼玉県		貴教育委員会		困難度レベル
			数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
1(1)	小数と分数の四則混合の計算をする	小数及び分数の四則計算ができる	○				○				○		49.2	8.8	48.3	9.7	8-B
1(2)	正の数・負の数の入った四則混合の計算をする	正の数・負の数の入った四則混合の計算ができる	○				○				○		78.2	1.2	78.6	1.2	7-B
1(3)	文字式の計算をする	簡単な一次式の計算ができる	○				○				○		66.3	3.7	64.6	3.3	8-C
1(4)	方程式を解く	簡単な一元一次方程式を解くことができる	○				○				○		72.1	6.0	73.8	5.8	7-B
1(5)	比を用いて、文字にあてはまる数値を求める	比例式を解くことができる			○		○				○		72.0	8.9	67.4	10.0	7-B
1(6)	変域を不等号を用いて表す	変域の表し方について理解している			○		○				○		36.4	17.5	35.0	19.8	10-C
1(7)	ある数を素因数分解する	自然数を素因数分解することができる	○				○				○		52.8	18.2	40.1	22.9	9-C

教科に関する調査 問題ごとの正答率等一覧表 [数学]
三郷市教育委員会

・レベルはそのレベルを、上からABC順に三分割しています。
・学力の伸びは、レベルを数値に変えたうえで昨年度との差を計算しています。
(例) R4レベル11-A(33)－R3レベル9-B(26)=伸び(7)

集計結果

	学校数	児童生徒数	平均 正答率	H30小4 レベル (平均)	H31小5 レベル (平均)	R2小6 レベル (平均)	R3中1 レベル (平均)	R4中2 レベル (平均)	令和3年度からの 同集団における 学力の伸び(平均)
埼玉県	356	44,081	52.7	5-B	6-B	6-A	7-B	8-C	2
貴教育委員会	8	1,039	51.0	5-A	6-A	7-C	7-B	8-C	2

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率	
			埼玉県	貴教育委員会
教科の領域等	数と式	13	54.0	53.2
	図形	8	47.9	45.0
	関数	6	53.8	52.0
	データの活用	5	55.6	53.6
評価の観点	知識・技能	28	54.2	52.6
	思考・判断・表現	4	42.1	39.9
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	15	52.0	50.1
	短答式	16	54.5	52.7
	記述式	1	35.1	36.2

困難度レベルは、およそ70%の確率で正答する学力レベル(三分割)に対応しています。

設問別集計結果

設問番号	問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等				評価の観点			問題形式			埼玉県		貴教育委員会		困難度レベル
			数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
2(1)	ある数量について、小数の乗法を用いて、文章題を解く	具体的な場面で、小数と分数の乗法の計算ができる	○				○				○		58.7	14.5	56.7	14.5	8-C
2(2)	ある数量について、分数の除法を用いて、文章題を解く	分数の除法についても、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している	○				○				○		28.2	20.5	25.1	20.5	10-B
2(3)	周の長さを、文字を用いて表した式を選ぶ	数量を文字式で表すことができる	○				○			○			57.0	0.3	58.5	0.4	8-A
2(4)	文字を用いた数量の関係を表す式について、適切なものを選ぶ	数量の関係を文字を用いて式に表すことができる	○				○			○			51.1	0.6	49.4	0.4	9-B
2(5)	文章を読み、方程式を用いて未知数を求める	具体的な事象の中の数量の関係を捉え、一元一次方程式をつくり、解くことができる	○				○				○		41.8	20.1	40.9	17.8	9-B
2(6)	仮の平均を利用して平均値を求める	具体的な場面で、仮平均を利用し、正の数と負の数を用いることができる	○				○				○		58.7	4.5	64.3	3.9	8-B
2(7)	反比例の性質として適切なものを選ぶ	反比例の性質について理解している			○		○			○			62.6	0.7	61.4	0.6	8-C
2(8)	度数分布表からある範囲の割合を求める	度数分布表から特定の範囲以上の割合を求めることができる				○	○				○		58.2	11.5	59.5	10.0	8-C

教科に関する調査 問題ごとの正答率等一覧表 [数学]
三郷市教育委員会

・レベルはそのレベルを、上からABC順に三分割しています。
・学力の伸びは、レベルを数値に変えたうえで昨年度との差を計算しています。
(例) R4レベル11-A(33)－R3レベル9-B(26)=伸び(7)

集計結果

	学校数	児童生徒数	平均 正答率	H30小4 レベル (平均)	H31小5 レベル (平均)	R2小6 レベル (平均)	R3中1 レベル (平均)	R4中2 レベル (平均)	令和3年度からの 同集団における 学力の伸び(平均)
埼玉県	356	44,081	52.7	5-B	6-B	6-A	7-B	8-C	2
貴教育委員会	8	1,039	51.0	5-A	6-A	7-C	7-B	8-C	2

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率	
			埼玉県	貴教育委員会
教科の領域等	数と式	13	54.0	53.2
	図形	8	47.9	45.0
	関数	6	53.8	52.0
	データの活用	5	55.6	53.6
評価の観点	知識・技能	28	54.2	52.6
	思考・判断・表現	4	42.1	39.9
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	15	52.0	50.1
	短答式	16	54.5	52.7
	記述式	1	35.1	36.2

困難度レベルは、およそ70%の確率で正答する学力レベル(三分割)に対応しています。

設問別集計結果

設問番号	問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等				評価の観点			問題形式			埼玉県		貴教育委員会		困難度レベル
			数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
2(9)	与えられた資料の範囲を求める	範囲の意味を理解している				○	○				○		45.0	15.9	40.8	16.9	10-C
3(1)	方程式の解の意味を理解し、解として適切なものを選ぶ	一元一次方程式の解の意味を理解している	○				○			○			53.4	1.7	55.2	1.1	8-A
3(2)	ある立体の半分の体積を求める	円柱の半分の体積を求めることができる		○			○				○		49.1	15.6	48.2	15.9	8-A
3(3)	複数の立体を組み合わせた形の体積を求める	直方体を組み合わせた形の立体の体積を公式を用いて求めることができる		○			○				○		65.3	11.9	63.2	13.0	7-B
3(4)	立体において、ある辺と平行な面をすべて選ぶ	立体における平行な面について理解している		○			○			○			45.8	0.6	42.4	0.5	9-A
3(5)	線対称な図形の性質として正しいものすべてを選ぶ	線対称な図形の性質について理解している		○			○			○			31.4	1.3	29.4	1.1	10-B
3(6)	対称移動した図形を選ぶ	図形を対称移動する方法を理解している		○			○			○			77.0	0.6	73.9	0.8	7-B
3(7)	比例の関係であった数量の関係が変化したとき、数量の関係について正しいものを選ぶ	比例や反比例の意味や性質を理解している			○		○			○			50.5	1.1	50.1	1.0	9-C
3(8)	表から比例のグラフを選ぶ	表から比例のグラフを表すことができる			○		○			○			59.6	1.5	57.7	0.9	8-C

教科に関する調査 問題ごとの正答率等一覧表 [数学]
三郷市教育委員会

・レベルはそのレベルを、上からABC順に三分割しています。
・学力の伸びは、レベルを数値に変えたうえで昨年度との差を計算しています。
(例) R4レベル11-A(33)－R3レベル9-B(26)=伸び(7)

集計結果

	学校数	児童生徒数	平均 正答率	H30小4 レベル (平均)	H31小5 レベル (平均)	R2小6 レベル (平均)	R3中1 レベル (平均)	R4中2 レベル (平均)	令和3年度からの 同集団における 学力の伸び(平均)
埼玉県	356	44,081	52.7	5-B	6-B	6-A	7-B	8-C	2
貴教育委員会	8	1,039	51.0	5-A	6-A	7-C	7-B	8-C	2

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率	
			埼玉県	貴教育委員会
教科の領域等	数と式	13	54.0	53.2
	図形	8	47.9	45.0
	関数	6	53.8	52.0
	データの活用	5	55.6	53.6
評価の観点	知識・技能	28	54.2	52.6
	思考・判断・表現	4	42.1	39.9
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	15	52.0	50.1
	短答式	16	54.5	52.7
	記述式	1	35.1	36.2

困難度レベルは、およそ70%の確率で正答する学力レベル(三分割)に対応しています。

設問別集計結果

設問番号	問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等				評価の観点			問題形式			埼玉県		貴教育委員会		
			数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	困難度レベル
4(1)	おうぎ形の弧の長さを求める	おうぎ形の半径と中心角からおうぎ形の弧の長さを求めることができる		○			○				○		39.8	20.8	37.3	21.4	9-A
4(2)	球と円錐の体積を比べ正しいものを選ぶ	球、円錐の体積の求め方をもとに考えることができる		○			○			○			35.2	2.6	31.3	2.8	10-C
4(3)	3点からの距離が等しくなるような作図の方法を選ぶ	垂直二等分線や角の二等分線について理解している		○				○		○			39.2	2.1	34.4	1.8	10-C
4(4)	反比例の式で表される事柄として正しいものを選ぶ	反比例における数量の関係について理解している			○			○		○			42.0	1.8	40.1	2.1	9-A
4(5)	多数回の試行をした結果を基にして、予測される結果として適切なものを選ぶ	多数回の試行の結果を基にして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取ることができる				○		○		○			52.0	2.2	48.8	2.6	9-C
4(6)	度数分布表から正しい累積度数を選ぶ	累積度数の意味を理解している				○	○			○			76.5	2.3	74.9	2.2	7-C
4(7)	ヒストグラムから分かることとして正しいものを選ぶ	代表値やヒストグラムについて理解している				○	○			○			46.4	2.6	43.8	2.7	9-A
5	碁石が使われている個数を文字を用いて説明する	文字を用いて事象と式の対応を明確に捉え、説明することができる	○					○				○	35.1	31.8	36.2	29.9	10-C